

普及活動情勢報告（令和2年6月分）

高吾農業改良普及所

日高村で露地オクラの収穫が始まりました ～オクラ目慣らし会～



6月17日に、JA高知県日高支所に露地オクラを出荷している生産者を対象に目慣らし会が開催され、7名が参加しました。

農業改良普及所からは、収穫期間中の栽培管理として草勢管理の目安や摘葉方法、梅雨や台風後の対策、オクラ黒斑病対策について説明しました。

生産者からは、「米用の予冷库が空いているが使えるか」「少し害虫が出始めている」等の意見がありました。

農業改良普及所は、今後も露地オクラの安定生産に向けて栽培管理や病虫害防除の指導を行っていきます。

品質の良い露地ニラを作ろう ～露地ニラ現地検討会～



6月19日に、JA高知県コスモスニラ生産部の露地ニラ現地検討会を開催し、23名の出席がありました。

いの町吾北地区と斗賀野地区のは場で、ニラの生育状況を確認したうえで、定植後の肥培管理や病虫害防除について意見交換しました。農業改良普及所からは、株養成期の管理のポイントとして、葉先焼けの対策等について説明を行いました。

出席した生産者からは「自分のは場よりも生育が早い、肥培管理の違いの結果だと思った」「雑草がまったくない、こまめに管理されている」といった反応がありました。

農業改良普及所は、ニラの収量品質向上を目指して、基本的な栽培管理の徹底を支援していきます。

簿記記帳を最大限に活かそう ～3町村合同の簿記講習会開催～



6月12日、農業改良普及所で、佐川町、越知町、日高村担い手育成総合支援協議会合同での簿記講習会を開催し、出席者9名が参加し、6月までの記帳内容の確認を行いました。

担い手協事務局からは、令和2年分の青色申告制度の変更点や源泉徴収、専従者給与の記帳上の留意点について説明しました。

生産者からは、「今年は毎回講座に参加し、確実な記帳や資金繰計画に活かしたい」という声が聞かれました。

農業改良普及所では各町村担い手協と連携し、今後も定期的に簿記講座を開催していきます。

自走式茶園管理機の現地検討会を開催



5月20日、仁淀川町高瀬で自走式茶園管理機の現地検討会を開催し、6名の生産者が参加しました。

まず、茶業試験場から自走式茶園管理機の性能について、環境農業推進課から茶の補助金について説明してもらいました。その後、農業改良普及所から茶樹再生技術である台切りについて説明しました。

生産者からは、「良い機械だが、自分の地区は傾斜がきついで導入するのは困難だ」との意見がありました。

農業改良普及所は、今後も茶の安定生産のために省力化技術や茶樹再生技術等について指導していきます。